



## 2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月7日

上場会社名 エコートレーディング株式会社

上場取引所 東

コード番号 7427 URL <http://www.echotd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 実

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経理財務本部長 (氏名) 小野 善治 TEL 0798-41-8317

四半期報告書提出予定日 2023年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第1四半期の連結業績(2023年3月1日～2023年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	26,615	14.3	453	417.1	466	400.8	330	378.3
2023年2月期第1四半期	23,286	—	87	11.2	93	8.6	69	46.8

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 355百万円 (424.3%) 2023年2月期第1四半期 67百万円 (32.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2024年2月期第1四半期	54.80	—
2023年2月期第1四半期	11.46	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。この影響により、2023年2月期第1四半期の売上高については、当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前年四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	35,585	—	9,856	—	—	27.6
2023年2月期	31,667	—	9,583	—	—	30.2

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 9,833百万円 2023年2月期 9,553百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年2月期	—	11.00	—	13.00	24.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	50,000	6.2	499	22.9	524	26.3	343	19.1	56.92
通期	100,800	4.0	908	5.8	954	6.4	626	6.1	103.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期1Q	6,036,546 株	2023年2月期	6,036,546 株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	10,445 株	2023年2月期	10,445 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期1Q	6,026,101 株	2023年2月期1Q	6,026,101 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナのもと行動制限が緩和されるなど、各種政策の効果により社会経済活動の正常化が進んだことから景気は持ち直しの動きが見られました。これに伴い、個人消費は緩やかに持ち直したものの、世界的な金融引き締めなどが続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動などの影響に十分注意する必要があります。先行きは依然として不透明な状況が続いております。

ペット業界におきましては、犬の飼育頭数減少、原油・原材料価格の高騰による仕入価格の上昇、人手不足による人件費増加に加え電気代や配送費など様々なコスト上昇が継続しており、ペット市場を取り巻く経営環境は依然として厳しい環境が続いております。

こうした状況の下、2024年2月期は「基本の徹底、そして成長へ」をスローガンとする新中長期経営計画の折り返しとなる3年目であり、「基本の徹底」によるローコストオペレーションに加え、「成長戦略」としては、デジタル化社会での経営戦略として「CED (Communication, Education/Entertainment, Design)」をコンセプトにおいた事業展開を更に推し進めることで他社との違いを明確にし、世界に発信できるマーケティング・デザイン・カンパニーとして、あらゆる角度からお客様をサポートしてまいります。

ペットフード・ペット用品の卸売事業につきましては、営業本部をヘッドクォーターとする本部制を更に強化するとともに、単品管理の徹底による安定した利益の創出、物流センターの運営や配送ルートなどの見直しによる物流コストの抑制を積極的に進め、更なる利益改善に取り組んでまいりました。

イベント事業につきましては、『みんな大好き!! ペット王国2023』を本年5月3日から4日にかけて開催いたしました。コロナ禍により2020年・2021年と休止しておりましたが今回で開催17回目を迎え、動員数では2日間で約4万人に達する一大イベントにまで成長し、ペットとの生活の素晴らしさや、ペットと暮らす効用を実感・体験出来る『人とペットのふれあいの場』を提供するイベントとして本年も多くの生活者様にご来場頂いております。

一方、ベッツバリュー株式会社では、「ペットオーナーの悩みに寄り添えるお店」をコンセプトに店舗開発事業におけるサービスレベルの向上に取り組み、管理店舗数は259店舗となっております。また、商品部では既存商品の拡販に努めてまいりました。

また、株式会社I&Iでは、お客様へのプロモーション戦略の強化並びに新たなチャネル開拓への取り組みにより、卸売事業の販売促進企画に注力するとともにベッツバリュー株式会社から移管した商品開発事業部では、「あ!これいいね。」をコンセプトとした今までにない価値を提案するオリジナル商品の開発に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、266億1千5百万円（前年同期比14.3%増）となりました。また、単品管理の徹底による利益の創出、物流コスト上昇の抑制とともに配送ルートの見直し、在庫管理の徹底による適正在庫での運用及び更なる効率化により、営業利益は4億5千3百万円（前年同期比417.1%増）となりました。

経常利益は4億6千6百万円（前年同期比400.8%増）となり、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億3千万円（前年同期比378.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ39億1千7百万円増加し、355億8千5百万円となりました。これは、主に現金及び預金が4億9千2百万円、受取手形及び売掛金が26億6千6百万円、商品が7億7千7百万円それぞれ増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ36億4千5百万円増加し、257億2千9百万円となりました。これは、主に未払法人税等が2億6千9百万円、賞与引当金が1億4千5百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が27億9百万円、短期借入金が11億円、未払金が3億5千6百万円それぞれ増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億7千2百万円増加し、98億5千6百万円となりました。これは、主に利益剰余金が2億5千1百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年4月7日付「2023年2月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、今後の業績の動向を踏まえ、修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,688,549	4,180,692
受取手形及び売掛金	20,104,694	22,771,238
商品	3,098,894	3,876,126
貯蔵品	10,150	9,655
未収入金	2,454,549	2,506,792
その他	60,607	120,603
貸倒引当金	△15,477	△16,165
流動資産合計	29,401,969	33,448,942
固定資産		
有形固定資産	1,191,325	1,180,921
無形固定資産	56,362	53,707
投資その他の資産	1,018,082	901,745
固定資産合計	2,265,771	2,136,373
資産合計	31,667,740	35,585,316
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,992,141	16,701,661
短期借入金	3,700,000	4,800,000
未払金	2,994,891	3,351,643
未払法人税等	365,898	96,801
賞与引当金	322,214	176,405
役員賞与引当金	43,000	43,000
その他	382,520	307,986
流動負債合計	21,800,666	25,477,498
固定負債		
その他	283,275	251,748
固定負債合計	283,275	251,748
負債合計	22,083,941	25,729,247
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,988,097	1,988,097
資本剰余金	1,944,862	1,945,372
利益剰余金	5,398,275	5,650,136
自己株式	△447	△447
株主資本合計	9,330,788	9,583,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,319	249,901
その他の包括利益累計額合計	222,319	249,901
非支配株主持分	30,690	23,008
純資産合計	9,583,798	9,856,069
負債純資産合計	31,667,740	35,585,316

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	23,286,704	26,615,074
売上原価	20,698,309	23,543,472
売上総利益	2,588,394	3,071,602
販売費及び一般管理費	2,500,612	2,617,717
営業利益	87,782	453,884
営業外収益		
受取利息	705	366
受取配当金	3,648	4,210
業務受託料	5,805	5,926
保険解約返戻金	—	5,743
その他	3,664	5,459
営業外収益合計	13,823	21,706
営業外費用		
支払利息	5,604	5,241
電子記録債権売却損	1,927	1,968
その他	991	2,248
営業外費用合計	8,523	9,458
経常利益	93,082	466,132
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,002
特別利益合計	—	6,002
特別損失		
固定資産除却損	261	—
特別損失合計	261	—
税金等調整前四半期純利益	92,821	472,134
法人税、住民税及び事業税	46,409	75,816
法人税等調整額	△22,059	67,964
法人税等合計	24,349	143,780
四半期純利益	68,471	328,353
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△566	△1,846
親会社株主に帰属する四半期純利益	69,038	330,200

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	68,471	328,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△589	27,582
その他の包括利益合計	△589	27,582
四半期包括利益	67,881	355,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	68,448	357,783
非支配株主に係る四半期包括利益	△566	△1,846



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。